

♥ 心臓リハビリのご案内

リハビリテーション部 理学療法士 吉田 陽亮

こんなお悩みのある方、**心臓リハビリ**に参加してみませんか？

- ◆ 運動は大事だけど、どのくらい動いていいの？
- ◆ 病気になって落ちた体力は戻るの？
- ◆ 病気の管理ってどうすればいいの？
- ◆ おひとりでは運動が続かない・・・



有酸素運動

酸素の取り込み能力を上げ
疲れにくい体を作りましょう



安全性

心電図、血圧、心拍数、自覚症状を
確認しながら**安全**に運動を行います

筋力トレーニング

筋力を向上させ**動きやすい**体を作りましょう
正しいトレーニング方法をお伝えします

病気の管理

管理のポイントをお伝えいたします
一緒に**再発を予防**していきましょう



1階心臓リハビリテーション室にて実施しております！

※注意※
心臓リハビリ参加には、循環器内科の
先生の指示が必要です。
まずは、主治医にご相談下さい。

対象となる疾患

- ① 急性心筋梗塞
- ② 狭心症
- ③ 開心術後
- ④ 大血管疾患（大動脈解離、解離性大動脈瘤、大血管術後）
- ⑤ 慢性心不全
- ⑥ 末梢動脈閉塞性疾患



ECMO装置について



ECMO（エクモと読みます）は、ExtraCorporeal Membrane Oxygenation（体外式膜型人工肺）の頭文字を取った名称で、コロナ関連のニュースで見聞きされた方も多いと思います。
今号では、エクモ装置の紹介をします。

ECMOの種類



ECMOには、
V-V（静脈-静脈）ECMOと
V-A（静脈-動脈）ECMOが
あります

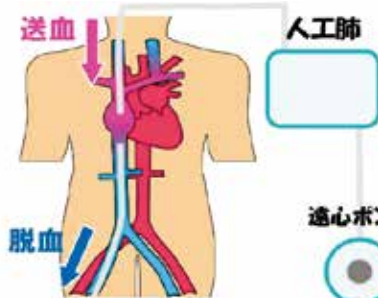
当センターの**最新型のECMO装置**です。
ECMOは駆動装置・遠心ポンプ・人工肺
および回路から構成されています

最新型なので血液ガスや回路の圧力を
常に確認できる装置も使用できます



最新型ECMO

V-V ECMO



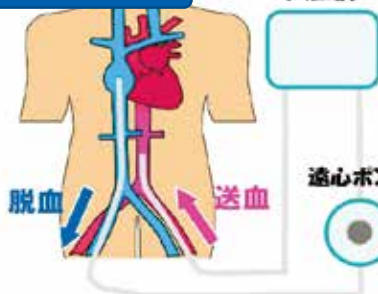
注意！

ECMOは、生命維持のために機能を止めることができない傷ついた心臓や肺が治るまでの間、その代わりにしたり、負担を下げることを目的とした治療です。ECMOという治療（装置）が病気そのものを治せるわけではありません。

主に呼吸のサポート

V-V ECMOは全身の血液を静脈から**遠心ポンプ**で取り出し（脱血といいます）
体外の**人工肺**で酸素化して静脈へ返します。
（送血といいます）

V-A ECMO



主に循環のサポート

V-A ECMOは全身の血液を静脈から**遠心ポンプ**で取り出し（脱血といいます）
体外の**人工肺**で酸素化して動脈へ返します。
（送血といいます）

ECMOを患者さんに合わせて常に調整をしながら用いることは、非常に専門的な知識や技術を必要とします。医師や看護師・臨床工学技士などのチーム医療が重要となります。

ICT (Infection Control Team:感染対策チーム) での 地域の医療機関との取り組み

今まで感染対策の取り組みとして、院内の感染対策をより強化するため、地域の病院とともに合同カンファレンスを年間4回開催してきました。2022年度より、地域の病院だけでなく、診療所やクリニックとともに地域の感染対策に取り組むために、2022年6月16日(木)に合同カンファレンスを開催しました。

テーマ

1.COVID-19の感染対策の重要性

～Long COVID-19診療経験を通じて考える～ 副院長 感染症内科 中村 孝人

2.COVID-19の感染対策

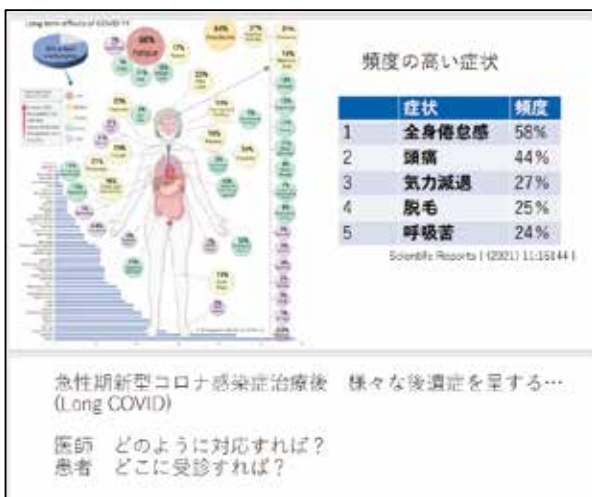
感染管理認定看護師 西田 典子

3.加算に向けた活動について

外来感染対策向上加算…新興感染症の発生等の訓練

地域連携強化加算…抗菌薬使用状況・感染症発生状況の報告方法

新型コロナウイルス感染症の後遺症 (Long COVID-19) についての中村副院長の講義では、事例紹介や検査、治療方法などの説明があり、地域の先生方とどのように検査や治療に取り組めばよいかなど、討議されました。



頻度の高い症状

症状	頻度
1 全身倦怠感	58%
2 頭痛	44%
3 気力減退	27%
4 脱毛	25%
5 呼吸苦	24%

Scientific Reports | (2021) 11:16144 |

急性期新型コロナウイルス感染症治療後 (Long COVID) 様々な後遺症を呈する…

医師 どのように対応すれば？
患者 どこに受診すれば？





感染管理認定看護師より、患者さんに医療の提供を継続するために、まずは医療従事者として、職員自身が感染しないことが重要であり、患者さんに感染させないための、職場内での勤務時の注意点や休憩中の換気・感染対策を紹介しました。



2. 濃厚接触を避ける

自身が罹性者となってもほかの人に感染させない

- ① 必ず、マスク着用で会話
マスクの着用ができない患者に接する際はゴーグル着用
入浴介助時・小児・マスクのできない高齢者など
排管・抜管時のN95マスクの着用
- ② 手指衛生の徹底
- ③ 職員の飲食の徹底
会議室の提供・自部署で壁向き・アクリル板使用
食事前後の環境クロスでの清拭・換気（サーキュレーターなど10台）
- ④ 自部署の環境整備
電子カルテの使用前後に環境クロスで清拭
固定電話やドアノブなど清拭

感染対策

高知医療センター中央資料室



新型コロナウイルス感染症対策の取り組みだけでなく、国内や世界で問題となっている耐性菌についても、今後は相談をうけながら地域で適正な抗菌薬の使用ができるように、耐性菌を減少させる活動にも取り組みたいと考えています。 感染対策室

ファミリー特集 病院で働こう!!

● 医師事務作業補助とは？

2008年度、診療報酬改訂で医師事務作業補助加算が創設されました。医師が行う業務のうち事務的な業務のサポートをする職種とされています。皆さんが診察を受けられる際、医師の隣で白衣を着て業務をしている職員が当院の医師事務作業補助員です。主な仕事は外来での電子カルテへの代行入力と診断書などの文書作成です。

● 医師事務作業補助になるには

必要な免許や資格、経験などは特にありません。現在働いている医師事務作業補助の中には病院未経験者や資格など取得せず就職している職員もいます。

なぜ資格や
経験がなくて
もいいの？

就職後、6ヶ月間は研修期間とし、業務内容について必要な研修を行うこと、また6ヶ月間の研修期間内に厚生労働省が定める32時間以上の研修を受講することが義務づけられています。就職後、働きながら勉強するため、入職時には資格や経験などは必要とされていません。

当院では就職後、電子カルテの基本操作や文書作成の指導を受けながら先輩と一緒に実務にあたります。実務と並行して32時間研修を受けることで必要な知識やスキルが身につく、現場で活かすことができます。



現在、内科系・外科系・小児科を担当しています。私たちが医師のサポートをしています。

働いていて
よかったと思う
ことは？

土日祝が休みで
働きやすい

健康意識が
高まった

先生や患者さんから「ありがとう」と言われたとき

医療現場の仕組みを知ることができ、自分や家族が受診する際のポイントがわかった

体の仕組み、病気や薬のことが働きながら学べる

診断書作成をすることで役場や保健所との書類の流れがわかる

院長のつぶやき

入職されたときは何の資格をお持ちでなくても、働きながら教育を受けていくにしたいが成長し、専門知識を十分に兼ね備えたドクターの片腕になっていく姿をみているととても頼もしく思えます。このファミリーをご覧の皆様も是非応募して頂き、私たちと一緒に働きましょう！

最初は大変な仕事だと思いに違いありません。先輩たちが個人のレベルに合わせた指導を行っており、未経験の方でも安心して業務できるように努めています。

また2022年4月より医師事務作業補助の正規職員登用制度が導入されました。個人のスキルに応じた目標を設定し、日々向上心をもって取り組んでいます！

外来の様子



文書作成など作業の様子

●当院のキャリアパスプラン 2022年11月現在、既に正規職員登用の実績があります。

	目標指針	役割	雇用形態
レベル4 (主任)	<p>教育・指導専門職として業務の指導・助言・援助・カウンセリング等ができる。</p> <p>豊富な専門知識・専門技術を有し、難易度の高い業務を効率的に遂行できる。</p> <p>スタッフの配置の管理・シフトの作成・調整ができる。</p> <p>他部署と調整し、問題解決に向けた行動ができる、クレームの対応・処理ができる。</p>	部署内の管理	正職員
レベル3 (リーダー)	<p>主任を補佐し業務の管理、スタッフの指導、業務改善ができる。</p> <p>幅広い実務知識と経験を有し、難易度が極めて高い業務(院外委託の精密検査手配や特殊検査含む)にも対応できる。担当診療科以外の診療科にも対応できる。</p> <p>緊急時の対応を適切に行い解決できる。</p>	指導者の育成を行う	有期専門職員
レベル2 (上級)	<p>基礎的な実務知識・技能を応用し難易度の高い業務に対応できる。インシデントの対応ができる。</p> <p>担当診療科の業務は正確に実行でき、基本的な診断書や診療情報提供書等の文書作成準備ができる。</p> <p>チーム医療の一員として患者サービス向上のための行動がすすんでできる。</p>	指導者となって新人や後輩指導を積極的に行い、自身の能力を向上させる	有期専門職員
レベル1 (中級)	<p>基礎的な実務知識・技能を応用し、比較的難易度の高い業務にも対応できる。</p> <p>協働スタッフ・上司・医師等へ適時、報告・連絡・相談ができる。</p> <p>現場のニーズや状況の変化に適切に対応できる、患者サービス質向上を考えることができる。</p>	実践的な技能を高め、後輩のサポートも行う	有期専門職員
レベル1 (初級)	<p>基礎的な実務知識・技能を有し、指導を受けながら比較的難易度の高くない業務を担当できる。</p> <p>決められた内容の業務を効率的に実施でき、スタッフとの連携を図ることができる。</p> <p>患者のプライバシーに配慮し、業務遂行できる。上司への報告・連絡・相談ができる。</p>	指導者のサポートを受けながら実務にあたる	有期職員
レベル0 (ビギナー)	<p>入職6ヶ月以内に32時間基礎研修を修了。研修修了確認テストを実施。</p> <p>決められた内容の業務を、決められた手順で実施できる。</p>	指導者のもと実務にあたり基礎研修を受ける	有期職員

私たちの頑張りが医師の負担軽減につながります！医療の質を向上させることができるやりがいのある仕事です。
チーム医療を支える一員として一緒に頑張りましょう！

お知らせ

在宅ケアに関わる職種対象の講座

西和MC在宅支援講座 (Web)

●令和4年12月8日(木) 17:30~18:30

摂食・嚥下障害認定看護師:木村美紀

「誤嚥を予防するための

口腔ケアと摂食姿勢」



医療職対象の講座

地域医療連携講座 (会場とWebのハイブリッド開催)

●令和4年11月16日(水)16:00~17:00

眼科部長 丸岡真治

耳鼻咽喉科部長 金田宏和

●令和5年1月19日(木)16:00~17:00

呼吸器内科部長 杉村裕子

理学療法士 吉田陽亮

*変更の可能性もあります。

詳細はお問い合わせ

ください。



心臓病教室のご紹介

理学療法士 吉田 陽亮

「心臓病に関する正しい知識を持っていただきたい…」

「ご自身を振り返りながら心臓病にならない生活改善をしていただきたい…」

西和地域の中核病院である当院では、このような思いから、皆様の“学びの場”として『**心臓病教室**』を開講することになりました。

心臓病で治療中の患者さんやそのご家族様が、より良い治療と健やかな生活を得るために、各分野の専門職(医師、看護師、理学療法士、管理栄養士)が講師となって、病気・治療のことから再発予防について、わかりやすくお話をさせていただきます。



心臓病の正しい知識や心構え、健康管理の方法(運動や食事について)など、実演を織り交ぜて、さまざまなテーマについてお話しします。全部の教室に参加しなくても、興味のある回だけの参加もできます。

今後も定期的に心臓病教室を開講する予定ですので、参加をご希望の方は、**リハビリテーション部の窓口**にてお申込み下さい。ご家族の方もご参加可能ですので、お誘いあわせのうえご参加下さい。



「ファミリー」は年に4回の発刊を予定しております。地域の皆様の健康に役立ち、親しまれ愛される紙面作りをめざしていきます。「ファミリー」とは、フランス語で「家族」という意味で、病院の理念「患者さんを家族のように愛する」から情報誌の名前としました。

住民の皆様役に役立つ情報・当院との連携についてなど、地域の登録医の先生方の投稿をお待ちしております。詳細は地域医療連携室にお問い合わせください。

発行・編集

奈良県西和医療センター情報誌

発行日 令和4年11月1日

編集者 地方独立行政法人奈良県立病院機構

奈良県西和医療センター 広報委員会

〒636-0802 生駒郡三郷町三室1-14-16

TEL:0745-32-0505(代表) FAX:0745-31-1354(地域医療連携室)

